业海道議會時報

第 13 卷 第 12 号 昭 和 36 年 12 月



北海道議会事務局

北海道議会時報第13巻第12号(昭和36年)

第 12 号 目 次 -----

議	会	の	動	き															
		常	任	委	員	会	•••••	· · • · · · ·		••••							• • • • •	•••••	. 1
		特	别	委	員	会		.,	•••••		· • • • • •	,		••••			• • • • •		. 8
				総	合開	発調査	£特別	委員会	会										
会				合															
		全	国都	3道原	存県	議会詞	義長:	会	•••••	•••••	· · • • • •			••••	· · · · · ·		• • • • •		.10
		雪	害丸	策)	立法	促進	関係±	地方(6 団	体協	議会		· · · · · ·	•••••			• • • • •	· • · • • · • ·	.11
		地	方 6	团体	本地	方財政	汝確	立対領	策協	議会									.11
		全	国都	3道原	府県	議会	事務是	局長名	会…	• • • • • •				••••	····				•11
		北	海道	東 :東	比 6	県議会	会事	務連綿	絡協	議会				••••	•••••		• • • • •		.11
資				料															
		第	3 🔟]定例	列会	及び舅	第1[回臨品	诗議 :	会の	議決	を私	圣た多	&例:	の公	布調	べ		.12
11	A	മ	Х	+															

表紙写真 原 — 雪 原 — 北海道議会事務局撮影



常任委員会

総務委員会

O11月11日 午前10時45分、第1委員室において開議、午 前10時50分散会、委員長 杉本栄一(自民)

一般議事

委員長より、町制施行希望関係村に対する現地調査 を配付の日程案のとおり実施することについて絡り、 異議なくそのことに決定。

〇11月28日 午後1時57分、第2委員室において開議、午 後4時45分散会、委員長 杉本栄一(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第843号 亀田村に町制施行の件 (採択)

一般議事

- ① 委員長より、北海道大学農学部に家政学科設置等に 関する中央折衝の経過については配付の報告書によっ て報告する旨を述べ、異議なくこれを了承。
- ② 総務部次長(高元)より、去る10月23日発生した森町 大火の被害状況並びに緊急応急措置について説明を聴 取の後、

津川委員(社)より、消火施設の整備についてどのように指導を行なつてきたか、今後における基本的考え方はどうか、

渡辺委員(社)より、応急仮設住宅の推進状況、世帯 更生資金の申請状況、中小企業者に対する再建資金の 貸付枠及び資金源の確保対策はどうなつているか、

佐野委員(社)より、森町の都市計画に関し町の4分の1負担は困難と思うが、これの緩和策について何か打合わせをしているか、民間の復興資材確保についてどのような手を打つているか、中小企業者の救済対策に関し中小企業維持振興資金の中から預託の措置を講じているか

等について質疑、民生部長、総務部次長(高元)、災害 消防課長、商務課長、地方課長、都市計画課長、林業 指導課長稲佐、建築課長より答弁。

③ 佐野委員(社)より、徳別村外6カ村の町制施行に関

する現地調査の経過について報告の後、異議なく報告 を了承。委員長より、町制施行関係の請願、陳情の取 扱いについて諮り、

佐野委員(社)より、自治省等の手続きにどの位かかるか、37年1月1日施行の申請であるから早い機会に取り上げないと間に合わなくなるおそれがあるこの点どのように考えているか

について質疑、委員長より応答、地方課長より答弁があって、この取扱いを協議のため暫時休憩の後、委員長より休憩中各党代表者と協議の結果、亀田村に関する町制施行の陳情は採択、残余の6村のうち朝日村、歌登村については更に検討を行なうため、朝日村の人口増加計画、歌登村の財政計画の資料を要求すること、他の4村については次回委員会において検討することになった旨の報告があり、異議なくそのことに決定。

- ④ 本日聴取した陳情は次のとおり。
 - (1) 歌登村の町制施行について 歌 登 村 長
 - (2) 多度志村の町制施行について 多 度 志 村 長

厚生委員会

○11月24日 午後零時50分、第1委員室において開議、午 後2時40分散会、委員長 原田伊會八(自民)

一般議事

① 中野委員(社)より、厚生関係予算に関する中央折衝 の経過について報告。ついで、

大久保委員(白民)より、他県における血液銀行等の 施設の状況視察について報告の後、

高田委員(社)より、青森県で日赤移管についての話はなかつたか、日赤に統合することによつて血液銀行の整備発展は望めるか

について質疑があり、委員長、中野委員(社)より応答、 衛生部長より答弁があつて異議なくこれを了承。

② 山下委員(社)より、腸閉そくの患者が休診のため、あちこちで入院をことわられ自衛隊病院で手術して命をとりとめた事件について、部長はどのように考えているかについて質疑があり、衛生部長、医務課長より答弁。ついで山下委員(社)よりこの問題について調査した事実の説明があつた。

高田委員(社)より、山下委員の説明に対する回答は 文書で明確にしてもらいたい、

佐々木委員(自民)より、この問題が事実であれば委員会の問題として証人調査をしても明らかにして対策を講ずべきである、

委員長より、この問題に対処する方針はどうか について質疑、意見及び要望があり、衛生部長より答 弁。 ③ 民生部長より、国立光明寮設置の件、整岐学院の国 庫補助の件について政治折衝を委員会として行なつて もらいたい旨の要望があり、

委員長より、この問題に関して今後中央折衝の機会 を持ちたい旨を述べた。

- ④ 委員長より、明25日道立札幌血液銀行の視察を行な うことを諮り、異議なくそのことに決定。次回委員会 は明日視察終了後開催することとした。
- O11月25日 午後1時6分、第1委員室において開議、午 後1時40分散会、委員長 原田伊曾八(自民)

一般議事

① 民生部長より、第39臨時国会で成立した児童扶養手 当法並びに過般焼失した広島村ふくじゆ園の出火原因 及び状況について説明を聴取の後、

高田委員(社)より、児童扶養手当法の実施は道にまかされているが、支給金額は上積みする考えがあるかについて質疑があり、民生部長より答弁。

- ② 委員長より、血液銀行移管問題について休憩して協議する旨を述べ、午後1時16分一旦休憩、午後1時30分再開、血液銀行移管問題は当委員会における決定事項でないので調査小委員会を設置し、各党2名づつの委員、オブザーバーとして委員長、副委員長を加えた6名で構成、検討することについて諮り、異議なくそのことに決定。
- 〇11月28日 午後零時5分、各派交渉室において厚生小委員会を開議、午後零時25分散会、小委員長大久保和男(自民)

小委員長より、血液銀行の運営対策の取り扱いについては休憩して協議する旨を述べ、一旦休憩、午後零時25分再開、休憩中協議のとおり次回小委員会を12月6日または7日頃に招集し、血液銀行理事者及び組合関係者、全道庁組合幹部、日赤理事者等を呼んで意見の聴取をすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

農務委員会

O11月11日 午前11時32分、第3委員室において開議、午 後零時30分散会、委員長 天谷平信(協)

議事に先立ち、樋口前農務部長及び坂本新農務部長 よりそれぞれ挨拶があつた。

請願、陳情の審査

請 願

第 445 号 農業用小口動力料企改訂要望の件 (商工労働委へ付託替)

陳 情

第 546 号 農林省日高種畜牧場を日本中央競馬会移 管反対要望の件 (採択)

第 550 号 農林省日高種畜牧場開放反対要望の件 (採択)

第770号 農作物共済事業の料率設定に関し要望の 体 (採収)

第839号 馬鈴しよ育種研究組織整備拡充の件

第840号 北海道農業試験場の「月寒」集中化の件 (軽択)

一般議事

① 笠井委員(社)より、暖地ビート栽培に関する内地府 県実能調査の結果について、久米委員(自民)より、無 水農家の解消に関する中央折衝の経過についてそれぞ れ報告があつた後、

菅田委員(社)より、ビート生産者価格をトン当り 6,000円にしてもらいたいとの要請はしなかつたのか について質疑があり、久米委員(自民)より応答があつ て異議なく報告を了承。

② 農務部長より、自創資金法の改正内容について説明を聴取の後、

管田委員(社)より、今年度の自創資金について本道の要求額及び配分額はどうなつているか、D階層農家に対する負債調査はいつできるか、この調査結果が判明した場合自創資金法の適用はうけられるのか、D階層農家に対する自立経営対策をどのように考えているか、農地開拓委において副知事は利子補給をしなければならないと言明しているが、その内容はどうか、1戸当りの貸付限度額が40万円になつた場合どれ位利益があるかについて資料提出方、

笠井委員(社)より、自創資金法改正に関する件の決議は衆院農林水産委かまたは衆院本会議か

について質疑及び資料要求があり、農政課長より答弁。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

米国産トロッター種牡馬輸入に対し購買費の援助方 について 十勝農業協同組合連合会長

建設委員会

〇11月8日 午後1時41分、第3委員室において開議、午 後1時59分散会、委員長事故のため副委員長 千葉軍治(白民)

一般議事

① 先に実施した上川、日高、胆振及び後志(南部)各 支庁管内の建設事情の調査報告については配付の報告 書のとおりであるが詳細は次回委員会において行なう ことに決定。 ② 残りの各支庁管内建設事情調査について諮り、異議なく実施することに決定、第1班は11月13日より11月19日までの7日間、渡島及び檜山支庁管内、第2班は11月20日より26日までの7日間、石狩及び後志(北部支庁管内を調査することとし、派遣委員は委員長一任と決定。

農地開拓委員会

○11月4日 午前11時50分、第3委員室において開議、午 後3時15分散会、委員長 西島順三(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第419号 多度志村ヌツブホロマツブ地区開拓北団 地養豚蓬鶏集団化事業に対し助成の件

(採択)

第446号 弟子屈町原野部落農家に対し道有地解放の件 (採択)

第458号 秩父別土地改良区に道営土地改良事業施行の件 (採択)

第 473 号 雄武町に道営客土事業実施の件(採択)

第 487 号 恵庭町地内鉄道西地区に客土事業施行の 件 (保留)

第 506 号 北空知地域国営かんがい関連事業として 道及び団体営かんがい事業実施の件

(保留)

第 507 号 株父別国営土地改良事業の関連事業を道 営並びに団体営土地改良事業として採択 の件 (採択)

陳情

第 358 号 幌延開拓農業協同組合の電気導入にかか る負債に対し助成の件 (保留)

第 507 号 ブラジル移民の積極的推進要望の件 (保留)

第712号 市町村農業委員会整備強化に伴う必要経費確保の件 (採択)

第733号 恵庭地区右岸工区道営軌道客土大運搬工 事施行業者の交替にかかる実情調査及び 前施行業者の基本施設経費等に対し組償 の件 (保留)

第764号 開拓入植者に対する営農資金の取扱い改 善要望の件 (採択)

第836号 厚真地区直轄かんがい排水事業実施の件 (採択)

一般議事

① 橋本(正)委員(社)より、農家負債整理問題に関連して、自創法の改正内容及び今後の負債整理推進に対す

る方針並びにD階層農家に対する対策をどのように考えているか、自創資金37億円を要求したのに対し、27億円しかこないが、残りの10億円についてはどのような措置を講ずるのか、D階層農家に対しては利子補給等を考えているというがその具体的内容及びこの問題を取り扱う所管は農務、農地開拓部というが副知事の見解はどうか、

山田委員(社)より、既往の負債分については物価の 値上り等情勢の変化で補償不能になるものもでてく るが、償還計画との関連はどのようになるか、

清水委員(社)より、現在の方法で負債の整理ができるか、負債整理の基本線を撤回したのかどうか、また知事は条件緩和を遡及して適用するといつているがこれを撤回したのかどうか

等について質疑及び意見があり、副知事(中島)より答 弁。

O11月30日 午前11時45分、第2委員室において開議、午 後2時51分散会、委員長 四島順三(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第733号 恵庭地区右岸工区道営軌道客土大運搬工 事施行業者の交替にかかる実情調査及び 前施行業者の基本施設経費等に対し補償 の件 (保留)

般議事

- ① 清水委員(社)より、昭和37年度国費予算に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なく報告を了承。
- ② 橋本(正)委員(社)より、失日別第3地区の自衛隊演習場化の問題について去る11月11日来道中の防衛庁長官と副知事(中島)が会談、矢日別地区に対する国の方針を早急に決定するよう要望しているが、副知事は部長と協議の上このような要望を行なつたのか、部長は矢田別地区を演習場に提供する考えがあるのかどうか、矢臼別はバイロット・ファームとして不適当であるという結論を誰が出したのか、11月12日の新聞報道について部長はどのように考えるのか、

速藤委員(社)より、防衛庁長官に対する道の申し入れについて副知事と部長との間にどのような打合せをしたか、部長はこのことについて関知しているかどうか、新聞報道の内容に誤りはないか、開拓地として使用する者えばないか、

堀田委員(自民)より、部長は開拓者を入植させることが先決と考えているか、

山田委員(社)より、国から正式に演習場の要請があった場合、その取り扱いはどのようになるか、また国から要請があった場合、部長はどのような態度でのぞ

むのか、本問題に対する道の態度は駐留軍自衛隊施設 対策委員会にかけてから明らかにするのか、道の態度 を明確にしなければならない時は当委員会を招集し、 委員会の意思を伝えたいと考えるがどうか

等について質疑があり、農地開拓部長より答弁、委員 長より、本件に関する副知事の出席については目下不 在中でもあり、次回委員会において出席方を求める旨 を述べた。

- ③ 山田委員(社)より、昭和34年~36年度までの道営軌 道客土施行場所、面積、工事費及び契約に至る過程等 について資料要求があつた。
- ④ 次回委員会は第4回定例会開会前に開くことについていいる。 ている。 英議なくそのことに決定。
- ⑤ 本日聴取した陳情は次のとおり。 乳作育成事業助成について

道開拓農業協同組合連合会会長

水産委員会

○11月6日 午後零時50分、第3委員室において開議、午 後4時25分散会、委員長 酉野吉一(自民)

一般議事

- ① 大島(仁)委員(社)より、日高、胆振両支庁管内にお ける水産事情調査の経過について報告があり、異議な くこれを了承。
- ② 水産部長より、合風26号及び高潮による漁業被害状況について説明を聴取の後、

沖野委員(自民)より、宗谷管内の漁業被害状況はど うなつているか

について質疑があり、漁政課長より答弁。

③ 漁業調整課長より、漁業法一部改正の要旨及び漁業 法改正に関する要望事項について、漁政課長より、水 産業協同組合法の一部を改正する法律案要綱に関する 要望事項についてそれぞれ説明を聴取の後、一旦休憩、 午後3時65分再開、

川村委員(社)より、共同漁業権における漁場設定について本道は特別共同漁業(2種ないし4種)権の制度をとらないで共同漁業権制度でよいというがなぜか、水産庁案の内容はどうか、

大島(仁)委員(社)より、本道漁業調整機構に関し、 海区の範囲を1支庁1海区の10海区程度に拡大した場合、離島と沿岸との調整についてどのように考えているか、漁業法の罰則規程を強化すべきでないか について質疑、意見及び要望があり、漁業調整課長より答弁。

④ 水産部長より、北方地域旧漁業権者等に対する特別 措置法案の成立並びに今後の北方協会設立等について 説明を聴取の後、

坂下委員(社)より、北方協会の性格及び樺太地域の 旧漁業権補償措置等が考えられていないが片手落ちで はないか

について質疑があり、水産部長より答弁。

- ⑤ 委員長より、ロ・ソ近海漁業の安全操業確保等に関する中央折衝を11月8日より3日間行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定。次回委員会の開催については委員長一任とすることとした。
- ⑥ 本日聴取した陳情は次のとおり。
 - (1) 浅海増殖事業予算増額並びに公共事業化について 北海道浅海増殖事業推進本部
 - (2) 漁業法の一部を改正する法律案要綱の大臣許可漁業中母船式漁業に関する改正要望について

北洋漁業協同組合太平洋鮭鳟漁業協同組合

(3) 漁業法の一部を改正する法律案要綱に対する要望 について 北海道機船漁業協同組合連合会

〇11月29日 午後1時30分、第3委員室において開議、午 後4時38分散会、委員長 西野吉一(自民)

一般議事

- ① 水産部長より、南方海域フイジー諸島の調査について説明を聴取。
- ② 勢田副委員長(自民)より、大型魚礁築設、近海安全 操業確保、漁業法及び水協法の改正等に関する中央折 衝の経過について報告、ついで漁業調整課長より補足 説明があつた後、

中松委員(自民)より、大臣許可漁業に関する事項に ついてはどのようになつたのか、母船式漁業の許可に 関し、独航船は母船に従属するのか、

大島(仁)委員(社)より、大型魚礁設置事業の公共事業化実現の見通し及び近海安全操業に対する国の考え方、北方見舞金の問題について社会党の大蔵委員に要請したか、漁業法及び水協法改正案の国会に提案される時期及び今後の政治折衝に対する見解、

沖野委員(自民)より、今回の中央折衝の期間は3日間であるが予算等の関係で制約されたのかどうか、水協法実現の見通しはどうか、

川村委員(社)より、取締船の建造問題について地元 から要請の電報をうけたがこれは道がやらせたのかど うか、大型魚礁の公共事業化について知事はどのよう に考えているのか、

坂下委員(社)より、大型魚礁の公共事業化について その後どのように進捗しているのか、自民党開発委員 会における松田代議士の発言を委員長はどのように考 えるか

等について質疑及び意見があり、委員長、勢田副委員長 (自民)、坂下委員(社)より応答、水産部長、漁業調整課 長、漁政課長より答弁があつて異議なく報告を了承。

③ 沖野委員(自民)より、第2期総合開発計画について は事前に委員会にかけないのか、日本海における中型 漁船漁業に関連して特にマスの定置についてはどのようになつているか、試験調査船については8トン位の ものを配置すべきでないか

について質疑及び要望があり、水産部長、水産課長 より答弁。

④ 大島(仁)委員(社)より、漁村のバイロット集落の指定並びに沿岸漁業の経営診断結果が新聞報道されているが道はどのような方策を行なつてきたのか、中型底曳網漁業に関し、最近の水揚げは小形の魚族が多いが道はどのように把握しているか、ホッケの稚魚処理等についてはどのような関心をもつているか、ホッケは近海魚かまたは遠海魚か、乱獲に対する今後の行政指導方針及び禁止区域における違反操業の実情をどのように把握しているか、金星丸による試験調査の結果はどうか、また金星丸に対する指導はどうなつているか、農耕兼業問題に関連して、不動産を取得する場合これら兼業者は課税されるのかどうか、減免するよう総務部と話し合うべきでないか、漁家経営を指導する立場からどのように考えるか、

坂下委員(社)より、中型底曳網漁船の北方転換に関し、試験船については現在どのようになつているか、 底曳根拠地(船名、経営別)等について資料提出方、 試験操業に対する見解及び調査船と試験船とは別のも のか

について質疑、意見及び資料要求があり、水産部長、 水産課長、漁政課長、漁業調整課長より答弁。

文教林務委員会

O11月16日 午後零時15分、第1委員室において開議、午 後5時5分散会、委員長事故のため副委員長 池田金助(協)

一般議事

① 干葉(大)委員(社)より、高等学校生徒急増対策に伴う財政措置要望等に関する中央折衝の経過について、 五藤委員(社)より、宗谷、上川、留萠各支庁管内の文 教林務実情調査の経過についてそれぞれ報告があつた 後、

千葉(大)委員(社)より、五藤委員の報告の中に高校の年次別間口増の発言があつたが、各学校に対し何か内示しているのか、地元の事情をどのように調査しているか

について質疑があり、教育長、財務課長より答弁があって異議なく報告を了承。

② 総務課長より、昭和36年度全国中学校一齊学力調査 状況について、教職員課長より9月26日実施の小学校 及び高等学校抽出学力テストに関する懲戒関係につい てそれぞれ説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、道及び道教委の職員賞罰審 査委員会は同一の基盤に立つて運営されなければなら ないものと思うがどうか、今回7名の校長を停職処分 に付した賞罰委の結論は今後大巾に変更することはな いか、賞罰委の審査対象に教育長は入るかどうか、私 学関係の文部省から交付される学力テスト予算はいく らか、私学関係と道教委関係とのテスト予算は別枠で 措置されているのか、学力テストに関する問題集、公 報及び啓 蒙 資 料 等、道教委と同様なものを配付して いるが筋が合わない、この印刷費はどこから捻出した のか、私学関係におけるテスト処理状況は文部省の指 示どおり進んでいると思うがどうか、9月26日実施の 抽出学力テストにおいて7名の校長を処分した内容及 びテスト中止を命じた38市町村からも処分該当者はで ないのか、テストを中止した市町村教委が自動的に職 務命令を取り消したものと結論を出した場合処分の対 象にならないと思うがどうか、10月26日の全国一齊学 カテストの場合、午前9時に実施に入つていないとこ ろは職務命令違反の対象になると考えてよいか、職務 命令違反行為完結の判断はどこでやるのか、市町村教 委の内申のないものは処分しないのか、9月26日のテ ストについての内申は7人の処分者のほかになかつた か、7人の外は処分者はでないと思うがどうか、この 処分はいつまで続くのか、期限を区切つて措置すべき でないのか、処分辞令月日及び処分期間並びに停職期 間中における校長の代行及び担任授業をどのように措 ' 置しようと考えているか、7名の処分てん末書、処分 理由の資料がでていないがなぜか、処分辞令のひな形 及び 説明書並びに第3回定例会における 奈良議員(自 民)の緊急質問に対する教育長の答弁内容、9月26日の テスト実施、不実施学校名及び実施率、10月26日のテ スト完全、不完全実施学校名及び生徒教、学級数等の 資料提出方、

堀委員(社)より、テスト中止を命じた場合、当初発 した職務命令は中止命令により当然消滅したものと解 するのが常識でないのか、

五藤委員(社)より、教委の責任においてテスト中止を命じたものではないのか、処罰を前提とした報告書を求めているように聞くがそのような事実があるかどうか、職員賞罰審査委員会のメンバーに労組代表が入っていないがこれに対する教育長の見解

等について質疑及び資料要求があり、教育委員長、教 育長、教職員課長、総務課長、学事課長より答弁。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

- (1) ニセコ、俱知安、小博地域を国定公園に指定推進 について 積 丹 町 長
- (2) 函館水産学校々舎改築促進について

函館市議会議員

(3) 帯広柏葉高校々舎の早期改築について

带広柏葉高校父兄会長

(4) 上士幌高校の道立移管について

上士幌町長

(5) 新得高校通常課程の設置について

新得町長

(6) 増毛高校の備品関係整備助成方について

增毛高校PT会長

(7) 喜茂別高校の道立移管について

喜茂别町長

〇11月17日 午後1時57分、第1委員室において開議、午 後4時55分散会、委員長事故のため副委員長 池田金助(協)

一般議事

① 副委員長より、昨日の委員会における千葉(大)委員 (社)の要求した資料は本日提出があった旨を述べた 後、ついで提出資料の説明を求め、教育次長、教職員 課長より説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、処分決定の際は事前に本人 を呼び話し合いの上処置したものと思うが何月何日ど のような状況で話し合つたか、本人が処分辞令の通知 を正式にうけていないうちに教育長は報道関係者に発 表しているがこのような 手 続きを 好ましいと 考える か、処分該当者から異議の申立がきていないか、学力 テスト実施の根拠その他についてどのような方法で理 解協力を求めたか、学力テストの実施に対する命令系 統は首尾一貫していないが、道教委は行政責任をどの ように考えるか、9月26日及び10月26日の学力テスト 集計事務はどうなつているか、10月26日テスト分に対 する文部省指令の処理日程はどうか、教育長はテスト 抽出校に指定された場合は中止措置を認めないと言明 しているが、室蘭工業、上砂川の両高校のテスト中止を 認めている、このような特定校のみに中止措置を認め るのはなぜか、後志管内に対しては懲罰内申の指導を 行なつているように聞くが行きすぎと考えないか、9 月26日のテストに関し職務命令を発することを決定し た教育委員会の会議は何日か、また当日出席したもの 及び9月22日付の通達の写し等の資料提出方、

五藤委員(社)より、小学校の場合市町村教委から内 申書を提出しない場合もあると思うがどうか、この場 合時効ということは考えられないか、

神部委員(白民)より、学力テスト結果の報告未提出小学校は空知管内のみであるが学校長自らの判断で提

出しないのか、または組織等の阻止によるものか、未 提出の場合処分の対象になると思うがどうか、処分の 条件がそろわなくとも処間方法を講ずべきでないか等 について質疑及び資料要求があり、教育委員長、教育 長、教職員課長より答弁。

② 本日の議事はこの程度にとどめ明18日午前10時より 委員会を開くことに決定。

〇11月18日 午前11時30分、第1委員室において開議、午 後3時6分散会、委員長事故のため副委員長 池田金助(協)

一般議事

① 副委員長より、昨日に引き続き学カテストの問題に ついて審議する旨を述べ、ついで教育次長より提出資 料の説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、室蘭工業高校のテスト申止 措置は口頭でやつたのか、修学旅行等学校行事による テスト変更は認められないと教育長が言明しているに もかかわらず、上砂川、室蘭の両校に対してはテスト 実施を免除しているが、地数行法第54条第2項の解釈 を原則的に変更できるものと解してよいか、抽出テス ト指定校で中止してほしい旨の意思表示をした学校が あれば示されたい、行事のため他の学校に振りかえら れたい旨市町村教委に申請されたものがあると思うが その調査結果はいつ出せるか、処分に付された7人の 校長の具体的違反事実は何か、道側の管罰委における 処分の場合、本人に懲戒理由を明らかにしているか、 今後人事委員会における不利益処分の審査は公開で行 なわれ、経過の一切を公表しなければならないがこれ に対処する用意があるか、本人がいかなる理由で処分 をうけたのかわからないという処分方法はあるか、こ れに対する教育委員長の見解、道側の賞罰委における 審査方法及び賞罰委員に職員組合代表を入れている理 由並びに道教委賞罰委に職員組合代表を入れることに ついて検討する考えはないか、テスト結果を指導要録 に記載しない理由及びこれについて文部省の了解をと つているのか、文部大臣は例外は認めない、北海道が そのようなことをするわけがないといつているがどう 考えるか、私立学校関係の指導要録記載に対する扱い はどのようになつているか、この取り扱いが公立、私 立で違うことは重大であり、このまま放置しておいて よいのか、抽出テスト結果を市町村教委が出さない場 合はどう措置するのか、各学校にあるテスト結果をど のように集計し文部省に報告するのか、これの道に集 まる目途はどうか、10月26日の中学校一齊テスト集計 作業の進捗状況及びその取り扱いをどのように考えて いるか、昭和31年以降35年までのテスト指定校、実施、 不実施学校名及び処分者を出した学校の管理規則等の

資料提出方、

五藤委員(社)より、35年度分の苫小牧西校における一般調査報告書及び9月26日テストの不実施4校の一般調査報告書並びに10月26日のテスト分についてもまとまり次第不実施校の一般報告書の写しを提出されたい。

水島委員(社)より、抽出テスト及び一齊テストに際 し、本人以外の理由により休んだ者は何人位いるか、 理由の如何を問わず欠席の扱いとするのかどうか 等について質疑、意見、要望及び資料要があり、教育 委員長、教育長、教職員課長、人事課長補佐、学事課 長より答弁。

② 堀委員(社)より、要求した資料の提出をまつて質問したいので本日の議事はこの程度にとどめ日を改めてやつてはどうか

について議事進行の発言があり、異議なくそのことに 決し、次回委員会を22日午前10時より開くことに決定。

O11月22日 午後2時10分、第1委員室において開議、午 後3時23分散会、委員長事故のため副委員長 池田金助(協)

般議事

① 副委員長より、前回の委員会における千葉(大)委員 (社)の要求資料は本日提出があつた旨を述べた後、

千葉(大)委員(社)より、日高及び後志支庁管内所在 学校の管理規則は同一のものと思うがどうか、昭和31 年~35年度の年次別学力調査資料に関し、9月26日の テストのみ義務付けをし処分者を出しているが31年以 降35年度までの扱いはどうであつたか、本年度に限り 処分者が出たのはなぜか

について質疑があり、教育長、教育次長より答弁。ついで、

五藤委員(社)より、7人の校長を処分した事後処理 等が充分な配慮がされていない点留意されたい、

堀委員(社)より、「本委員会はまだ付託案件の審査に入つておらず、執行の上にも支障があると考えられるので、学力テスト問題については本委の意見をとりまとめ委員長を通じ教育長に要請することとして、ある時期まで保留の扱いとすべきである。なおその意見として本年度2回にわたる学力テストの実施結果については極めて遺憾である、学力テストをめぐり本道教育に対して非常な混乱が起つた事実は本道教育行政上憂慮にたえないところである、よつて、道教育委員会は今後過般実施の学力テストをめぐり再び混乱を起さないように格段の配慮を払うべきである」としてはどうかと

発言があり、副委員長これを諮つて異議なくそのこと に決定。 ② 高等学校生徒急増対策に伴う財政措置要望等に関する中央折衝を行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定、派遣委員等については後刻協議することとした。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- O11月8日 午前11時7分、第1委員室において開議、午 前11時31分散会、委員長 大島三郎(自民)
 - ① 山下委員(社)より、新産業都市建設促進法制定に関する中央折衝の経過について、委員長より、去る11月 4日開催の北海道開発審議会農林水産小委員会の会議 経過についてそれぞれ報告の後、異議なく報告を了承。
 - ② 委員長より、第2期開発計画策定のため先進駅の工業地帯造成計画調査の実施について諮り、本件調査は各党間で協議の上委員長一任と決定、次回委員会は11月21日午後1時から行なうこととした。
- O11月21日 午後2時、第1委員室において開議、午後4 時2分散会、委員長 大島三郎(自民)
 - ① 知事より、第2期北海道開発計画(案)について提案の挨拶があり、ついで副知事(沢田)より、計画案の内容について説明を聴取の後、

塚田委員(社)より、本計画案の提出に当り事前に開発庁の意見等を参酌して作つた案であるかどうか、今後全国計画に合わない場合は修正していくのか、あるいは修正すべきものなのかどうか (こついて質疑、副知事(沢田)より答弁。

- ② 委員長より、今後の本委員会の進め方については各党より代表者を選出して協議することについて諮り、 異議なくそのことに決定、暫時休憩の後、委員長より、 休憩中協議の結果、明22日から25日までは個人審査の ため休会、この間資料要求等があつた場合は理事者に おいて便宜供与方お願いすること、27日と28日の両日 本委員会を開き総括質疑を終え、その後に小委員会を 設置して各部門別審議を行なうことになつた旨を述 べ、異議なくそのように取進めることに決定。
- ③ 委員長より、11月24日開催の開発審議会農林水産小 委員会にオブザーバーを派遣することについて諮り、 異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等について は委員長一任とすることとした。
- O11月27日 午後2時14分、第1委員室において開議、午 後3時59分散会、委員長 大島三郎(自民)
 - ① 第2期総合開発計画案の審議に入り、 塚田委員(社)より、計画立案当局と諮問機関との関係特に本計画案は北海道総合開発委員会の答申をその まま道の案として移し替えたものか、それとも道が委

員会の答申をそのまま認めて出したものか、総合開発 委員会が具体的にどのような問題についてどのような 意見を述べたのか、またどういう意見をどういう形で 入れたのか、重要な意見については体系的に示しても らいたい、各小委員会全部がこのような点を検討せよ、 こういう点は慎重に構え、こういう点は努力せよとい うように意見があつたのかどうか、第2期計画は生産 力計画で部門別計画にウエイトが置かれるというが今 後開発審議会、閣議、全国開発計画との調整の段階に おいて資金計画にメスが入れられ計画を体に翻齬があ るということになれば、この計画全体が無為に期する のではないか、また今後の運動については生産力計画 であるという路線の中で運動してよいのかどうか、そ の心構えはどうか、北海道農林漁業基本問題審議会の 答申と本計画との関係はどうか、第2期計画の基礎数 字について33年の価格を計算価格として固定した理由 は何か、国は35年、道は38年からの実施計画であるのに 国の計画に合わせて33年度の数字をとつたことについ て矛盾を感じないか、時間的ズレの埋め合わせを立案 に当り考慮したか、国の所得倍増計画は1年経過した 今日過熱を冷やしていこうという客観情勢にあるが、 これに合わせた計画は真面目な計画としてマッチする ものかどうか、また本道として他府県に比し有利な条 件を充分考えて立案したものか、

荒委員(社)より、本計画案に知事の意見は入つているのか、総合開発委員会に知事はどのような意見を述べたか、総合開発委員会の意見と知事の意見を提出されたい

- ことについて質疑、副知事(沢田)、企画部長より答弁。
- ② 委員長より、明日午後1時より更に審議を続行する ことについて諮り、異議なくそのことに決定。
- O11月28日 午後2時6分、第1委員室において開議、午 後4時15分散会、委員長 大島三郎(自民)
 - ① 阿部委員(自民)より、去る11月24日開催の北海道開発審議会農林水産小委員会の会議経過について報告があり、異議なく報告を了承。
 - ② 第2期総合開発計画案の審議に入り、

塚田委員(社)より、北海道農林漁業基本問題審議会の答申と本計画との間に齟齬がないか、企画部長は審議会の答申を基本にして策定したというが農漁業所得において相当な開きがあるこの点どのように考えているか、大陸貿易の問題に関連して貿易構造を考えないで計画を樹てても架空の議論になるのではないか、この点杉野日委員会で充分に論議されたか、また知事部局でどのように考えているか、地域格差解消の具体策がないのはどういう理由か、消費指向型工業と資源指向型工業のいずれに重点をおいてやるのか、企業誘致

条件整備には相当の期間が必要になり、実際の数字に 現われてくるのはそれ以後ということになる、この点 計画では早く打出し過ぎているのではないか、

荒委員(社)より、審議会の答申と計画との間において豊漁業所得において相当な開きがあるが、新規開田、 反当り収獲をどのように伸ばそうとするのか、

高田委員(社)より、地域格差解消に対する基本的な 考え方及び具体策はどうか

について質疑、副知事(沢田)、主幹(蝦名)より答弁。

③ 委員長より、塚田委員(社)より要求の貿易対策に関する知事の考え方を質疑するため明日知事の出席を得て審議を行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定。

〇11月29日 午前10時42分、第1委員室において開議、午 後4時26分散会、委員長 大島三郎(自民)

① 塚田委員(社)より、第2期開発計画を形成する重大要素として大陸との貿易があるが、今後どのように具体化していくのか知事の所信及び特にソ連圏との貿易を積極的に進める考えはないか、また富山県、新潟県等と連けいしてやる考えはないか、政府の意に反することはしないということであるがそのような考え方を変えるべきでないか

について質疑及び要望があり、知事より答弁、一旦休憩後午前11時22分再開、

川村委員(社)より、第2期開発計画の全国開発計画との調整の見通し及び生産所得、人口、第2次産業伸び等について相当の違いがあるが自信をもつて調整できるか、本計画の閣議決定はいつか、また単なる目標計画かまたは実施計画になるのか、この計画では国の投資を48%期待しているが、第2次計画の実績からみて実現の可能性があるのか、本計画は道及び市町村財政の見通しの上に立つて組まれたものかどうか、本計画の意義及び目的の周知を具体的にどのような方途で行なう考えか、

塚田委員(社)より、閣議決定は全国開発計画との調整が終つてからやるのかどうか、第2期計画は政府の所得倍増計画が基本となつているが、倍増計画は一つの指針であり、これを真似た計画というものは出発点から間違つているのではないか、どのような考えのもとに策定したのか、地域計画というものはそのようなものでよいものかどうか、条件、整備の期間が長いので計画に変動はないか、所得倍増計画を基本的に変えなければ本計画の達成はできないと考えてよいか、理事者の考え方は楽観過ぎはしないか

等について質疑及び意見があり、副知事(沢田)、企画 部長、主幹(蝦名)より答弁。

② 明30日午前10時より引き続き委員会を開催すること

に決定。

○11月30日 午後零時16分、第1委員室において開議、午 後4時17分散会、委員長 大島三郎(自民)

① 委員長より、第2期総合開発計画案の審議を続行する旨を述べ、塚田委員(社)より、第2期計画は目標計画か、あるいは実施計画であるのか、その性格を明確にされたい、計画推進にあたり電力料金、減税及び青函トンネルなど懸案の諸問題について体系的解決策を明示すべきでないか

について質疑、企画部長より答弁。

- ② 委員長より、今後の委員会の進め方について協議する旨を述べ、協議の結果、総論に対する質疑を一旦中止し各論を審議しながら全体の審議を続けていくことに決定、なお第2期総合開発計画案の調査に関連して各常任委員会との連合委員会を適当の時期に聞いて本計画案の説明を行ない、各常任委員会においても所管事項に関連して意見があれば本委員会に申し出てもらうよう議長に申し入れを行なうこととした。
- ③ 委員長より、本委員会の調査経費について100万円 の追加を次期議会に措置することについて諮り、異議 なくそのことに決定、明12月1日午前10時より委員会 を開くこととした。



全国都道府県議会議長会

- 〇11月6日 都道府県会館において常任幹事会を開催、次 の事項について協議した。
 - 1 地方財務会計制度の改革に関する答申(小委員会案) に対する本会意見について
 - 2 年金制度対策について
 - 3 地方自治関係団体職員の共済制度について
 - 4 長期勤続自治功労者の定例会招待について
- 〇11月15.16の両日 和歌山県において第40回定例会を開催、まず自治功労者(議員541名、職員103名)の表彰を行ない、次いで諸般の報告ののち、次の事項を協議決定し、関係方面に要望することとした。

なお、本定例会において役員改選の結果、会長に東京 都議長、副会長に北海道、山形、神奈川、愛知、兵庫、 岡山、愛媛、大分の各道県議長がそれぞれ選任された。

- 1 決議 民主主義の暢達と議会制度の発展 行政水準の向上と地域的行政の格差是正
- 2 核実験の即時停止に関する決議
- 3 地方公務員の統一的年金制度の早期実施について
- 4 地方開発拠点都市建設の統一的立法化と予算措置について
- 5 府県開発公社関係諸法令の改正方促進について
- 6 揮発油税、地方税の税率の引上げに伴う配分率の是 正について
- 7 人事院勧告に基づく給与改定の財源措置について
- 8 後進地域の開発に関する公共事業に係る国の負担割 合の特例措置の対象となる指定事業の拡大について
- 9 雪害対策(仮称一対雪基本法の制定)について
- 10 昭和37年度予算編成について
- 11 高等学校生徒急増対策について
- 12 5年制工業高等専門学校の設置について
- 13 高等学校産業教育手当の増額および国庫負担について
- 14 へき地教育における暫定1級地の恒久化について
- 15 公立図書館の国庫補助増額について
- 16 農業の近代化と構造改善のための諸事業について
- 17 北陸地方の農業基盤整備の拡充推進について
- 18 土地改良制度の改正について
- 19 開拓制度の改正について
- 20 大裸麦の作付転換について

- 21 養蚕近代化施設補助増額について
- 23 沿岸漁業等振興法の早期制定について
- 24 果実および果実加工品輸入の自由化阻止について
- 25 国有林野の再編について
- 26 農林漁業金融公庫融資に係る漁業関係資金の利子引 下げについて
- 27 海外移住対策の強化促進について
- 28 沖縄に対す日本政府の経済援助等について
- 29 公共事業の建設費国庫補助基準単価を工事単価の値上りに応じ引上げについて
- 30 公営住宅の建設促進と標準建設費の引き上げについて
- 31 土地(工場、住宅用地等)の値上りに対する抑制策 と宅地開発促進について
- 32. 海岸法におけるる漁港区域に関する海岸管理について
- 33 首都図市街地開発区域整備費の増額等について
- 34 国直轄事業負担金の軽減について
- 35 通過交通量の増加に伴う道路補修財源の増額等について
- 36 国道整備費の全額国庫負担方について
- 37 近畿観光周遊道路網の整備について
- 38 国土開発縦貫自動車道建設法に基づく九州自動車道 の事前調査費の大巾増額と早期着工について
- 39 主要地方道の国道編入について
- 40 北陸縦貫高速自動車道の基礎調査について
- 41 県道部局改良事業の拡充強化について
- 42 1級国道昇格方について
- 43 1級国道8号線および41号線整備促進方について
- 44 四敦国道期成完遂について
- 45 水防法の改正について
- 46 河道埋そく土の堀さく事業推進について
- 47 除雪作業費に対する国庫補助について
- 48 台風常襲地帯における災害防除事業計画の樹立について
- 49 高潮対策事業の補助率の引き上げについて
- 50 港湾施設の整備促進について
- 51 道路運送関係法等の改正について
- 52 交通整備(鉄道の促進について)
- 53 交通事故による被害者補償の万全化について
- 54 自動車交通事故防止対策の強化について
- 55 気象観測施設の整備強化について
- 56 観光行政の一元化について
- 57 観光地旅館の設備改善等の資金融資について
- 58 青函隧道建設の保進について
- 59 特別失業対策事業および臨時就労対策事業等の改善 について

- 60 失業対策事業の能率化について
- 61 公共職業訓練施設の強化対策について
- 62 国民年金制度の取扱等改正方について
- 63 国民健康保険事業の助成について
- 64 結核対策の万全を期するため、結核患者を保護する 法律の制定または結核予防法の改正を早急に実現する ことについて
- 65 公害防止に関する単独法制定促進について
- 66 公立病院の赤字対策について
- 67 中小企業基本法(仮称)の制定について
- 68 中小企業対策について
- 69 産炭地域振興対策について
- 70 低開発地域工業開発促進法の制定促進並びに地方開 発公庫の設置について
- 71 物価安定施策の推進について
- 72 離島振興法の期間延長について
- 73 水資源の総合開発について

雪害対策立法促進関係地方6団体協議会

〇11月8日 東京都において雪害対策促進大会を開催、新 潟県副知事を座長に選出し、経過報告、自、社雪害対策 特別委員長の挨拶、来賓祝辞等があつたのち雪害対策に 関する要望事項を決定し、次いで「雪害調査機関の充実 と雪害総合対策の実現を期す」旨宣言して散会した。

地方6団体地方財政確立対策協議会

- 〇11月27日 都道府県会館において開催、次の要望事項を 決定し、関係方面に要望することとした。
 - 1 税制改正に対する要望について
 - 2 地方公務員退職年金制度の改正について

全国都道府県議会事務局長会

- 〇11月7.8の両日 都道府県会館において開催、坂下全議局長を座長に選任し、自治省行政課長補佐宮元義雄氏より「地方自治法の一部を改正する法律及び地方財務会計制度の改革に関する答申(小委員会案)の解明」、前衆議院法制局長西沢哲四郎氏より「地方議会をめぐる諸問題について」と題する講演を聴取ののち次の事項について協議した。
 - 1 議会運営上の諸問題について

- 2 議長会又は議会の事務処理上の諸問題について
- 3 その他

北海道東北6県議会事務連絡協議会

- ○11月28日 福島県において開催、次の事項について協議 した。
 - 1 県外調査における諸連絡について
 - 2 予算の経理、財産の管理及び契約等について
 - 3 職員の研修について
 - 4 既往決定、要望事項の実施促進について
 - 5 昭和37年度予算編成に当たり各県の方針及び機構改 正について

資》,料

第3回定例会及び第1回臨時道議会の議決を経た条例の公布調べ

件名	議決月日	公布月日 公布番号
北海道税条例の一部を改正する条例	10. 20	10. 28 条例第71
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	10. 28 同 70
北海道陸運事務所設置条例の一部を改正する条例	司	10. 28 同 69
北海道立地下資源調査所条例の一部を改正する条例	同	10. 28 同 74
北海道立会社福祉館使用条例の一部を改正する条例	同	10. 28 同 72
北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例・	同	10. 28 同 73
北海道営真駒内団地水道事業給水条例等の一部を改正する条例	報告	9. 30 同 68
昭和36年7月の集中豪雨による被害市町村の施設の復旧等の川に供する道有林野産物の譲渡の特例に関する条例	9. 14	9. 18 同 67

11 月 の メ モ

- 1 ○日米経済委の米代表団来日、ラ国務長官ら33人。
 - ○全道労協執行委、物価値上げ反対運動で地域毎に組 織づくりを決定。
 - ○日本シリーズ巨人優勝。
- 2 ○国連政治委、核実験停止決議案を可決。
 - ○第1回日米貿易経済合同委員会開く。
- 4 ○国連総会、ウ・タントビルマ代表を暫定総長に選出。
 - ○日米貿易経済合同委員会共同コミニユケを発表。
 - ○金山ダムの補償協定仮調印終わる。
 - ○札鉄局、新ダイヤ反対斗争に対し 599 人の処分を通 告。
- 5 ○ゴールドパーク米労働長官、日本労組代表と会談。
 - ○道治療医師会、小児マヒ後遊症に無料奉仕を決定。
- 6 ○道開発局、本道の資本蓄積調査結果をまとめる、10 年間の投資額1兆6,000億円。
- 7 ○文部省、来年度から小、中学生に教科書無料配布を 実施する方針。
 - ○ユードル米内務長官来道。
 - ○社会党第35回中央委員会開く。
 - ○自民党税制調査会、本年度減税方針の大筋をまとめる、平年度で1,500億円。
- 8 ○農林省道内 4 統計調査事務所、本道水稲予想収穫高を発表、10月15日現在82万6,100トン、水陸稲計1,257万2,000トン、本道ははじめて全国一になる。
- 9 ○国語審議会初の総会開く、会長に阿部真之助氏を選 出。
 - ○道観光審議会、観光振興方策で中間答申、7項目の振興策強調、公社構想も織り込む。
- 10 ○放射能対策本部、放射能観測結果を発表、本道上空 ひどく汚染、きたない30メガトン、ストロチュム90 は微量。
- 11 ○朴韓国議長ら来日。
 - ○ピート糖工場の第2次認可、河野、町村会談で芝浦 (由仁)、台糖(富良野)、明治製糖(池田)、名古屋 製糖(芽室)の4工場に意見一致。
- 12 ○池田、朴会談開く、日韓会談の促進、日韓関係の改善について話し合う。
- 13 ○総理府統計局、35年国勢調査の年齢別産業別人口調査結果を発表、農業人口が激減、平均世帯は4.5人に。
- 14 ○アレキサンドラ英国王女来日。
 - ○道生活文化賞受賞者決まる。本輪酉自治会、奈井江 町京極生活改善実践部落、釧路村新生活建設運動伏 古実践会の3団体。
 - ○道開発委経済構造分科会、経済構造の見通し発表、45 年度第2次産業に重点、生産所得は1兆4,000億円に。
- 15 ○自民党税制調査会、37年度税制改正要綱案をまとめる、減税平年度1,500億円(国税)、地方税は380億円。
 - ○道環境衛生適正化審議会、理髪、クリーニングの最 低料金で答申、理髪160円、ワイシヤツ37円。

- 16 ○フィッリピン大統領にマカパガル氏(自由党)が当 ・ 選。
 - ○池田首相、東南ア訪問の旅に出発。
- 17 〇経済企画庁、経済成長率試算をまとめる、明年度は 実質6.4%、本年度10.6%に再改定。
- 18 ○池田首相、アユブカーンパキスタン大統領と会談、 パキスタン援助で一致、ア大統領合併会社建て国内 産業の育成を要請。
 - ○道水産部、沿岸漁業の経営診断結果をまとめる、協業化の機熱さず、流通加工に研究不足。
- 19 ○総評賃金白書をまとめる、3倍の賃上げ可能、日経 連の主張に反撃。
- 20 ○トルコ新内閣成立、首相にイノニユ氏。
 - ○道総合開発委員会、第2期北海道総合開発計画を知事に答申、総生産所得3倍に。
- 21 ○池田、ネール会談、ネール首相中共の国連加盟を強 調。
 - ○道教委、明年度教員異動方針を発表。
 - ○北教組、道人事委に7校長の処分取消しを要求。
 - ○第36回道展開く。
- 22 ()アレキサーンドラ英王女離日。
 - ○ILO理事会、日本の87号条約批准不履行は遺憾であるとの結社の自由委の報告を採択。
 - ○道警、旭川で学力テスト初の手入れ、労組役員 2人 逮捕。
- 24 ○労力テスト問題手入れ、歌登で3人逮捕。
 - ○芸術院新会員に加藤顕清氏ら14人が内定。
- 25 ○国連総会2つの決議成立、核兵器禁止、アフリカ非 核地帯。
- 26 ○九州場所大相撲、大鵬 4 度日の優勝遂げる。
- 27 〇経済企画庁、第6回生活白書を発表、地域格差広が る傾向、個人消費伸びる、とくに目立つ農村。
 - ○日ソ漁業専門家会議開く。
 - ○自民党石炭対策特別委員会、石炭対策要綱をまとめる、雇用奨励金新設など政府に申し入れ。
- - ○児童扶養手当法公布、来年1月より実施、1人月800 円、2人1,200円。
 - ○産炭地域振興審議会道地域常会、産炭地域の指定47 市町村を対象とする通産局案を了承。
 - ○道血液銀行の日赤移管決まる。
- 29 ○米、チンパンデー衛星に功成。
 - ○自民党道連、参院地方区の公認候補に岩田、西田両 氏を推選。
- 30 ○池田首相、東南ア旅行より帰る。
 - ○赤平福住鉱で爆発事故、12人死傷、17人絶望。
 - ○道開発局、金山ダム建設基本計画なる、農業用水の 施設も42年春に完工めざす。

昭和36年12月20日発行

北海道議会時報(第13巻)

編 集 北海道議会事務局調査課

発 行 北海道議会事務局

北海道議会時報第13巻第12号(昭和36年)